



写真：神戸の自然シリーズより

オニバス

寄田小学校 学校だより

平成22年6月23日



全校児童でウミガメの卵 105 個を掘り上げて学校へ移設 6/10木 寄田海岸

小中一貫教育について

学校長 佐東 忍

薩摩川内市では連携型の小中一貫教育を進めています。ねらいは、「学力低下の問題」や「いじめ・不登校・不良行動などの生徒指導上の問題」また、いわゆる中1ギャップといわれる中学校生活への不適應などなどのいろいろな問題を少しでもよくするため、小学校と中学校が義務教育9年間を見通し、積極的に連携して子ども達を育てていこうとすることです。

寄田小学校は、高江中を中心として滄浪小・峰山小と連携した「小中一貫教育」を進めています。コミュニケーション科の目標は、様々な体験活動や調べ学習・表現活動などを通して「よりよい人間関係を築く力」や「自分の思いや考えなどを上手に伝える力」などを育て、「子ども一人一人の学力や豊かな心を育む」ことです。ここでは、田植えなどの農業体験学習を通じた地域の自然や人々の暮らしへの興味関心の高まりと、滄浪小・峰山小との集合学習会を通じた仲間づくり・よりよい人間関係づくり、また、ウミガメ保護活動や棒踊りなど、調べたことを自分なりにまとめ、いろいろな方法で発表して自分の考えをみんなに分かってもらう、などを学んでいきます。

これらの学習が、子ども達一人一人の学力の向上へとつながり、豊かな心を育む基盤となっています。寄田小学校では、一人一人の子どもが自分なりの目標を持って様々な事にチャレンジし、「やった！・できた！」という喜びを味わいながら、心も体も脳もいっぱい鍛えていけるように教育活動を進めていきます。「ふるさとを愛し、未来に羽ばたく寄田の子」の教育目標に向かって、高江中・滄浪小・峰山小と連携しながら、「寄田らしい教育」を実践していきます。

薩摩地方も梅雨に入りました。大雨が降ると洪水や崖崩れなどの発生が予想されます。常々天気情報に気を配り、増水した川や崖地帯のそばには近づかないことが肝心です。また、川や海岸では、増水して流れが速くなっていたり、濁った水で底が見えないことで深みにはまったりなどの危険があります。家族・地域みんなで十分に注意しましょう。



サンドアートに挑戦！ 5/28金 (川内川河口)

寄田三尺棒踊り奉納 6/6日 新田神社



新田神社の境内での棒踊り奉納

「寄田三尺棒踊り」（県無形民俗文化財指定）を新田神社の御田植祭で奉納しました。小・中学生・高校生、一般の総勢 30 名の勇壮な踊りに会場からは拍手喝さいでした。「寄田三尺棒踊り保存会」の方々のご指導を受けながら、新人の 2 人（1 年生、特認生 4 年）も、熱心に練習に励み、日に日に上達していきました。当日は、天気もよく子どもたちは暑さで少し疲れぎみでしたが、菅原神社や各集落を回り地域の方々の前で棒踊りを披露することができました。この寄田の良き伝統を受け継いでいく活動に参加できたことはとても素晴らしいことです。

県警ひまわり号による交通教室 6/4 (金)



県警のひまわり号の皆さん方による交通教室がありました。横断歩道の渡り方や自転車の乗り方について指導を受けました。自転車の点検では、「ぶたはしゃべる」（ブレーキ、タイヤ、反射材、車体、ハンドル、ベル）と教わりました。あなたの自転車は安全ですか。コースの試乗をしましたが、交差点での合図の仕方や渡り方がもう少しです。広い道路に出るときや交差点では必ず一旦停止して左右の安全を確かめましょう。危険を予測し手前でかける心のブレーキが大事です。また、自分の身（特に頭）を守るために、子どもたちに、ヘルメットの着用をすすめてください。

今年もウミガメ学習開始！ 6/10木



ウミガメの卵をふ化場へ入れる子どもたち

6月10日（木）、寄田海岸の清掃、卵をふ化場へ

ウミガメ監視員の方、市環境課の方々の指導のもと、寄田小学校の子どもたち、職員、保護者等合わせて 20 名ほどで、寄田海岸の清掃をしました。

砂浜は、流木や竹などの漂着ごみが散乱していました。ウミガメが上陸産卵しやすいようにと、子どもたちは熊手などを使って、ごみを集めたり運んだりして、約 1 時間かけて清掃を行いました。その結果、砂浜は見違えるようにきれいになりました。

その後、前日産卵したウミガメの足あとや産卵場所について、中野さんから説明を受けました。卵を掘り上げる際は、市環境課の方の指導により卵に赤マジックで印をつけ、上下が逆さまにならないように、慎重にほり上げました。子どもたちは「1 つ。2 つ・・・」と数えていくと、ピンポン玉ほどの白い卵が全部で 105 個確認できました。

その卵を市の許可をもらい、寄田小学校校庭のふ化場に移し、ふ化させることになりました。子どもたちは、「やわらかくて温かいな。早く子ガメになってほしいな。」と、1 人 2 個ずつ卵をふ化場の砂の中に埋めました。産卵から 60 日、**8 月 10 日ごろがふ化の予定**です。

現在、子どもたちは、天気、気温、地温など、ふ化場の観察をしながら、子ガメがふ化する日をとっても楽しみにしています。ふ化した子ガメは寄田海岸に放流する計画です。ふ化についてはまた後日紹介します。

7月の主な行事予定

- 1 日（木）教育相談週間（～2）
- 2 日（金）カヌー練習、ALT
- 5 日（月）家庭学習強調週間～11）
- 6 日（火）キッドビクス
- 7 日（水）七夕集会、航空写真撮影（午後の予定）
- 8 日（木）校内水泳大会 13：45 合同・学級 PTA
- 9 日（金）薩摩川内元気塾（寄田小、トンボの生態について）
- 13 日（火）着衣水泳体験（5）
- 17 日（日）3 校区子ども会交流会 9：00 コミセン
- 20 日（火）1 学期終業式 21 日（水）～夏休み



